

目黒から世界へ羽ばたく

ロンドン2012

パラリンピック水泳 日本代表 長尾智之 選手

2012年8月、ロンドンで行われたパラリンピック競技大会、水泳男子100m背泳ぎS14※競技に出場した、目黒区出身の長尾智之選手(高3)に会いに行きました!

Q 身体も手も足も大きいなあ。靴の大きさ教えて? (金原)

A 靴のサイズは32cmです。
身長は185cm、
体重は80kgあります。

●水泳の

練習は週5日

5歳から水泳をはじめ、
ミニスイミングクラブで
日々練習を重ね、今では週5
日・毎日2時間の練習に加え、土曜日は朝
練2時間も行っているそうです。国内・国
際大会に出場し、強化指定選手として強化
合宿に参加するため、忙しい日々を送って
いる長尾選手の得意な泳ぎは、「背泳ぎと
バタフライ」で、「夏はとても気持ちがい
いから楽しい」と答えてくれました。
でも試合ではとても緊張するので、「人
という字を飲んだり、深呼吸したりしてリ
ラックスする」と教えてくれました。

●目黒区育す

小学校の頃は近所の児童館・学童保
育クラブに通っていました。学童保育
クラブのおやつで思い出に残っている
のは「ハンバーガー」と「ドーナツ」
だそうです。

●自己ベストは

背泳ぎ100m 1分2秒37!

一番思い出に残っている試合は、自己ベストを出した
カナダの大会で、2011年にはワールドランキングで
見事1位となったそうです。
ロンドンパラリンピックでの8位入賞の泳ぎは、観客
が多く大歓声で集中するのが難しく、納得いかないもの
だったようです。でも、「次の目標は1分2秒36の世界
記録をやぶること」と力強く答える長尾選手は、常に前
向きに水泳のことを考えていました。

Profile

●ながおともゆき●

目黒区出身。幼少より水泳を始め、2012年6月
に開催された第15回日本知的障害者水泳短水路
大会において、50メートル背泳ぎと100メー
トル背泳ぎで優勝(50メートル背泳ぎは大会新記
録)。同年、パラリンピックに初出場を果たした。
9月20日には目黒区スポーツ表彰を受賞。

輝いている人★インタビュー
目黒から世界へ羽ばたく

▶バタフライ・自由形・メドレーも得意。国内外の試合で、いろんな種目にチャレンジしています。



長尾選手の素顔にせまる

◀水泳競技で水を一度にたくさんくにはもってこいの大きな手を器用に使用して、あっという間に折っていきます。

◀取材中に何か折ってくださいと頼むと、即興で折ってくれました。細かい折り目を器用に付けて、丁寧に作った「ドラゴン」です。家でもっと難しいものを調べてチャレンジして息ぬきをしているんですね。

DRAGON!

- Q 息ぬきの方法がありますか？
- A インターネットをみることで。
- Q 折り紙が得意というのですが、最近折ったものは？
- A クマ(ティディベア)です。25センチメートル角や35センチメートル角の大きな紙を使って作ることもあります。
- Q どうやって折るんですか？
- A インターネットで折り方を検索して、調べて折ることもあります。

- 水泳の話だけでなく趣味などの話も聞いて楽しかった。その場で作ってくれた折り紙がハイクリティティで感動しました。 狩野
- 僕の中学の先輩。学校で活躍の様子が貼り出されていました。会ってみて…大きかったなあ！ 金原



▲取材場所は、長尾選手が小学生のころ通っていた向原住区センター児童館・図工室。

●手と足が大きくなりびくびくしていました。折り紙が上手すぎて、それもちびくりしました。 山田

●長尾くんが児童館に通っている時に指導員として、向原住区センター児童館にいました。心も体もたくましくなった長尾くんを面会で、感激でした。うれし涙。 井関

目黒の中高生へメッセージ
「最後までしつこいよ」
(進むよ)。目標に向かう
一直線に進んでほしいよ」
高校3年生の長尾選手は、今後も一腕や足を鍛えて水泳をがんばりたい。世界記録を更新したいと力強く答えてくれました。がんばれ！長尾選手!!

2020年オリンピック・パラリンピック東京招致を応援

昨年、イギリスで開催されたロンドン2012オリンピック・パラリンピック競技大会では、日本人選手が大活躍でした。連日、テレビにきぎ付けた方も多かったのではないのでしょうか？
オリンピック・パラリンピックは、多くの人に夢と希望を与え、国際平和の実現に貢献できる世界最大のスポーツの祭典です。「7年後の2020年にオリンピック・パラリンピックを東京に招致しよう！」という一大プロジェクトが動いています。長尾智之選手も、2020年の大会に出場するかもれません。競技者にとって、自国で開催されるオリンピック・パラリンピックへの出場は、大きな夢であり目標です。そして、多くの方からの応援が活力となります。
2020年のオリンピック・パラリンピック開催都市は、2013年9月7日のIOC総会で決定します。オリンピック・パラリンピックが東京で開催されれば、選手や試合を身近に感じるだけでなく、メダル獲得の瞬間を自分の目で見るすることができます。さらに、海外のメディアや観光客も多数訪れ、日本をアピールするまたとないチャンスになります。
2020年オリンピック・パラリンピック東京招致を、ぜひ実現しよう！



▲色んな招致グッズ。

おしえて! パラリンピック水泳



参加証
参加した人がもらえる証。



8位入賞の賞状とメダル
予選タイム1分5秒00。
決勝タイム1分7秒25。
パラリンピックならではの観客の盛り上がり。とくに決勝は大歓声で集中するのが難しかったのですが、堂々とした姿は日本で応援していた私たちに勇気をくれました。



着用した水着とキャップ
水着はとっても薄くてよくのびる！お手入れは方法は→バスタオルで包むようにして水分をとって乾かす。洗濯機では洗わない。大会の時に支給されるそうです。



ピンバッジ
選手証のストラップにいつているピンバッジは、他国の選手と交換したものを。



壮行会
学校等で出発前にたくさんの人に応援してもらった。その時にもらった手作りの応援グッズも、大切に保管されていました。

パラリンピックから帰っても大忙し
目黒区・厚生労働省・首相官邸での表彰、天皇陛下のお茶会出席や学校の皆さんからもお祝い会をしてもらったそうです。

水泳を習わせようと思ったきっかけは、兄弟の中で一人だけぜんそくがあり、ぜんそくとうまくつき合っていくための体力づくりをするためでした。
特別支援学級などに通う子どもたちが放課後集う「ピリブ」には、今でも少しの時間をみつけて行くこともあります。出発前は「ピリブ」や学校等でたくさんの方々に壮行会を開いてもらい応援してもらいました。
パラリンピック前はどこにかたくさん練習してロンドンに向かいました。ロンドンでは忙しく、あまり自由時間がなかったようです。選手として活動しはじめてから、あきらめないで前へ進む気持ちが出てきたことに成長を感じています。



お母さんの快校さん

お母さんにインタビュー